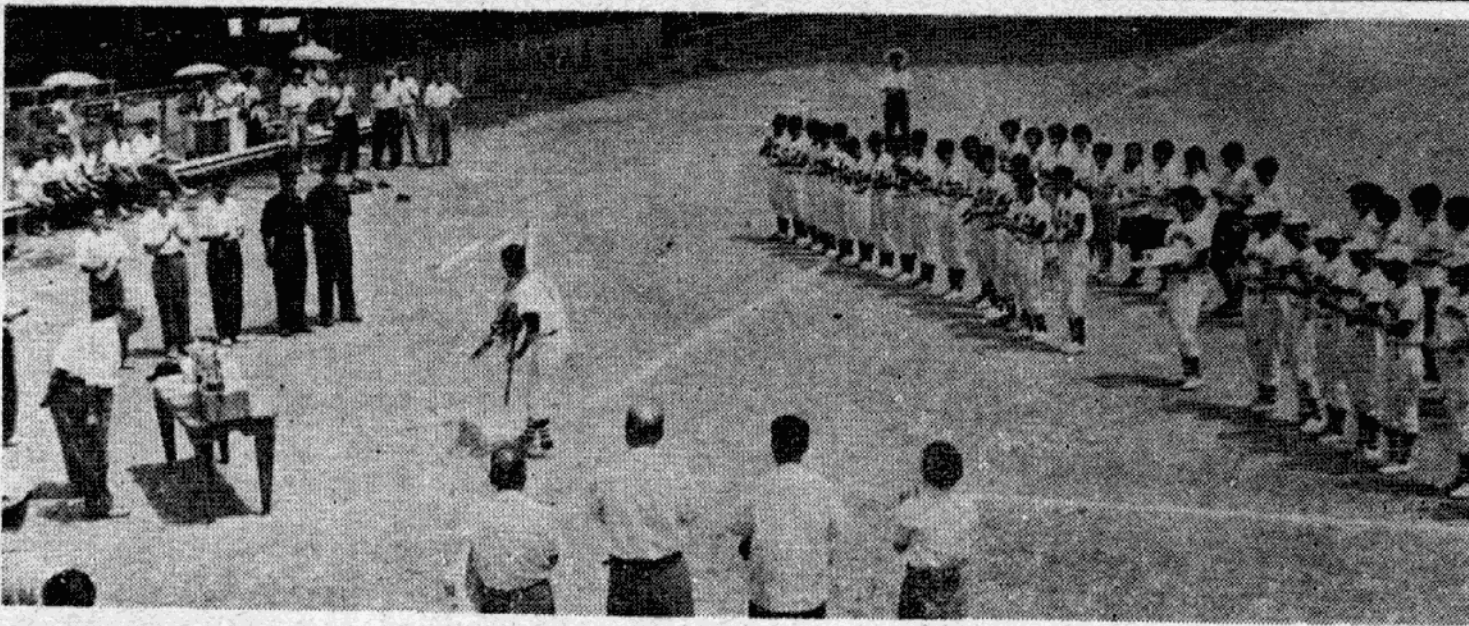


季節の手帳

9月は、なにかと気ぜわしい月だが台風もシーズンなので、その対策を、日ごろからたて、おきたい。

二学期もはじまり、夏休み後の、とくに、低学年生の健康には気をつけたい。夏やせを回復するのも9月から。

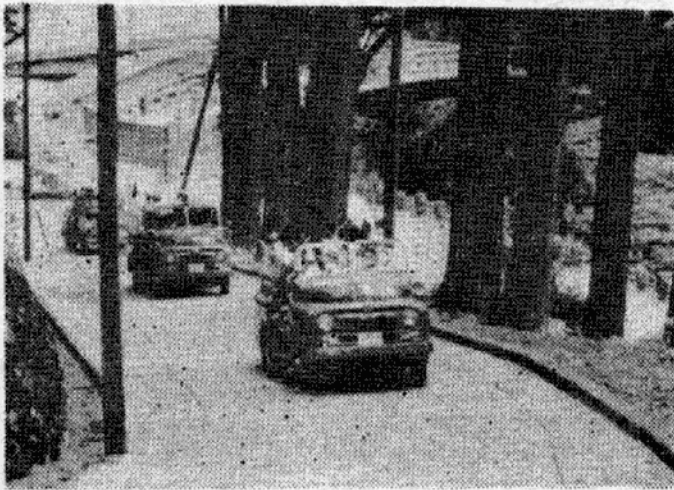


夏休み中の児童の体位向上と、不良化防止の目的で、野球(37町内)とソフトボール(38町内)をとりあげた第12回児童体育大会は

8月10、11日の両日、中央大会をひらき、野球・ソフトボールともに松原町が優勝して幕を閉じた。(写真は優勝した松原町チーム)

市政 ピックアップ

山内表参道をコンクリート舗装して作った、防災道路を、消防自動車をはじめ通った。これは8月11日に行われた消防の夏季点検で、西町二荒山神社前の駐車場に集結の途中通つたもので、緊急の場合にこの道路が大きい役割をはたすことが実証された。



ト舗装して作った、防災道路を、消防自動車をはじめ通った。これは8月11日に行われた消防の夏季点検で、西町二荒山神社前の駐車場に集結の途中通つたもので、緊急の場合にこの道路が大きい役割をはたすことが実証された。

(写真 ⑥ 防災道路を通る消防車)

8月7日、市役所で小児マヒワクチンの追加投与を実施して危険年齢の大半を終了した。これまでに市内で投与したのは、4,467人。市内では2名発病だけで、その後発生をみていない。

(写真 ⑤ 最後のワクチン投与)



衣

夏のあいだにいたんだ下着の数を、補充しておきたい。運動会や、旅行のシーズンが近づくので、その準備も必要。15日は「老人の日」だが、その贈りものに、ふとんなどどうだろう。その場合、かけふとんは、絹わたか、合繊が軽く、カバーは、薄手キヤラコを、ノリ抜きにすると軽い。盛夏用衣服、夏ふとん、バラソルなどもそろそろ始末しておく。

食

新しょうがが出まわる。梅すか、たごのすすけにしておく、クキから切つて、一晚塩づけにし、天日にぼしてから、すにつける。一週間そのまゝにしてから、新しいすに、塩、砂糖、化学調味料などで味をつけ冷蔵所に貯える。9月は魚も野菜も果実も豊富に出まわり、夏やせ回復の時期。日本の味覚の王者、くりやかきが、農家の庭先や、お店の色合いをにぎやかにしてくれる。

住

まず台風対策。破損個所は、いまずく修理しておく。また停電をそなえて、ソーラ、ソーラソーラ立で、マツチなどを用意する。とくに、電気ガマ、電気冷蔵庫など使用している家庭では、その対策を考えておく。夏のすだれ、ヨシ戸などの始末も必要。戸だれも開け放つて、熱湯でしぼつた布でふきしぼらく風を通したい。宿根草の株分け、防風の支柱など庭の手入れも忘れずにしたい。

としよりの日にわりましょう

長寿会

9月15日 午後1時から
(場所) 日光公会堂
(対象) 明治24年12月31日以前に生れた人

長寿会は市内有志による慰安会を開き、満70才以上のおとしより九百八十三名に益子焼茶わんを記念品として贈ります。

また82才・83才のおとしより35名には、記念の座ふとんを贈ります。

9月15日は「としよりの日」。この日から一週間を「としよりの福祉週間」として、としよりの福祉についての推進運動が、展開される。

「老後を明るく」をモットーに、健康でゆたかな生活設計をみんな考え、としよりの福祉をより一そう推進しようというのがねらいである。

